

根本 祐二 （ねもと ゆうじ）

東洋大学PPP研究センター長

鹿児島市生まれ

東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行（現日本政策投資銀行）入行

2006年、同行地域企画部長を経て、東洋大学経済学部教授に就任

現在、同大学大学院公民連携専攻長兼PPP研究センター長

pppschool.jp

専門 公民連携、地方創生、インフラ

公職 国土交通省社会資本整備審議会専門委員、内閣府

民間資金等活用促進委員会委員長代理などを歴任、自治体の公共施設マネジメント委員会委員
多数

主要著書「朽ちるインフラ」日本経済新聞社ほか

福島 隆則 （ふくしま たかのり）

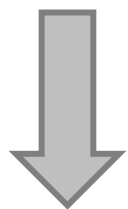
株式会社三井住友トラスト基礎研究所 PPP・インフラ投資調査部門長 理事

- 国内証券会社や外資系投資銀行での勤務を経て、現在はPPP・インフラ投資に係るアドバイザー、リサーチ、コンサルティング業務を管轄。
- 東京都国際金融フェロー。
- 内閣府「民間資金等活用事業推進委員会」専門委員、文部科学省「PFI検討会」委員、経済産業省「アジア・インフラファイナンス検討会」委員、国土交通省「インフラリート研究会」委員、国土交通省「不動産証券化手法等による公的不動産（PRE）の活用のあり方に関する検討会」委員などを歴任。
- 早稲田大学大学院ファイナンス研究科修了（MBA）。
- 日本証券アナリスト協会検定会員（CMA）。
- 著書に「インフラ投資 PPP/PFI/コンセッションの制度と契約・実務」（日経BP・共著）、「よくわかるインフラ投資ビジネス」（日経BP社・共著）。レポート「小さなコンセッションが起こす大きな潮流 ～スモールコンセッションに期待すること～」（弊社HP）。

中嶋 善浩（なかじま よしひろ）

民間資金等活用事業推進機構 官民連携支援センター長

民間金融機関



2006年 入社

2010年～2019年 プロジェクトファイナンスに従事

国内外のPPP/PFI、再生可能エネルギー案件等への融資

各部署で、アレンジ、参加検討、エージェント、モニタリング、審査等に従事

民間資金等活用事業推進機構（PFI推進機構）

2019年 入社

2019年～2024年 投融資業務に従事

PFIを実施するSPCへの出資および融資

融資は地域金融機関と協調融資するシンジケートローン方式

2024年～現在 官民連携支援センター

官民連携を検討する自治体等の支援に従事

スモールコンセッションと金融の関係

資金調達 類型	調達主体	返済主体	スモールコンセッション			
			指定 管理者	コンセッ ション	RO	賃貸借
公共事業	官	官				
サービス 購入	民	官				
混合型	民	官 民				
独立採算	民	民				

主に、この話をします

トークのテーマ

1 「民間金融」に対する不満にこたえる

- ① 金融の専門用語が分かりにくい！
- ② 民間金利は高いので使いたくない！
- ③ 金融機関はお金を貸す以外に何ができるの？

2 地域金融機関への期待

- ① 金融が役立った事例
- ② 地域金融機関はどう生き残れば良い？
- ③ プラットフォームに参加してほしい地域金融機関の担当部署

1 「民間金融」に対する不満にこたえる

① 金融の専門用語が分かりにくい！

福 島	中 嶋	根 本
どの業界にも専門用語はあり、ある程度は仕方ないと思うものの、説明不足だった点は反省。	専門用語・略語はコミュニケーション効率化のためにある程度は必要。しかしネット検索すればわかるようにすべき。	金融に限らず皆が正確に専門用語を使うべきだと思いますが、浸透させる努力を怠っていることは反省。

② 民間金利は高いので使いたくない！

福 島	中 嶋	根 本
民間金利が高くても設計・建設費や維持管理・運営費を含めトータルでコスト削減できれば、官民連携事業を行う意義はある。	事業リスクを民間に移転するなら民間資金調達が必須。そうでない場合には、地域金融機関の関与というメリットをどう評価するか。	民間金利が高いのではなく、国全体の信用で支えている公共金利が低いだけ。将来的には持続できない恐れがあり、自治体が自力で調達できるようにする必要あり。

③ 金融機関はお金を貸す以外に何ができるの？

福 島	中 嶋	根 本
官民連携事業に参画する地元企業を紹介するビジネスマッチング。また、そうした企業への出資や、その事業自体への投資など、エクイティ側でのビジネスも期待できる。	融資前の審査により事業性の低い案件を排除するスクリーニング機能、民間事業者間のマッチング機能、事業開始後に資金繰・経営状況を継続的に監視する財務モニタリング機能。	地域との日常の取引から得られた情報を基に取引先の経営改善する。「地域密着型金融」が重要。取引先が経営改善すれば貸し倒れリスクが下がり、金融機関の利益が増える。

2 地域金融機関への期待

① 金融が役立った事例

福 島	中 嶋	根 本
官民連携事業の多くで金融は重要な役割を果たしてきたが、スモールコンセッションの推進を鑑みれば、信用金庫が融資に参加した事例に注目したい。	PFIにおいて、SPCの構成員が破綻した際の事業継続に、金融機関が役立った事例。	USJは世界で初めてのレジャー施設のプロジェクトファイナンス。豊後高田昭和の町はまちづくり会社に優先出資。

② 地域金融機関はどう生き残れば良い？

福 島	中 嶋	根 本
多角化とデジタル化がキーワード。特に後者については、スモールコンセッションとの相性も良いと思われる。	従来のPFIより少し大きなリスクを取りながら少し大きなリターンを得る、ミドルリスク・ミドルリターン案件の発掘。	人口もインフラ老朽化も予測できるので、それに合わせた地域の資金の性質や規模はかなり正確に想定して準備できる。これが「プログラムファイナンス」。

③ プラットフォームに参加してほしい地域金融機関の担当部署

福 島	中 嶋	根 本
事業ファイナンス系部署のほか、1-③の観点から法人営業系部署や投資関連部署。また2-②の観点から、新規事業開発系部署など。	プロジェクトファイナンス担当部署のみならず、事業への多様な視点が求められるという観点から法人営業部署。また、社内のルールとの調整を図る観点からリスク管理部署。	地域担当と法人営業。金融機関の社会貢献ではなく、本業で利益を確保できるからこそ持続できる。